

海上保安制度創設 70 周年記念式典
参議院議長祝辞

本日ここに、天皇皇后両陛下の御臨席を仰ぎ、海上保安制度創設 70 周年記念式典がこのように盛大に開催されましたことを、心からお慶び申し上げます。

海上保安庁は、戦後間もない昭和 23 年 5 月に、海上保安業務の一元化を実現するために創設されました。以来、今日に至るまで、海洋秩序の維持、海難救助、海上防災など、海洋の安全保障の中核として、日夜御尽力していただいております。

近年、我が国周辺海域を取り巻く状況はますます厳しくなっており、その最前線に立ち続ける海上保安庁職員の苦労は、想像するに難くありません。

参議院といたしましても、関係委員会における審議や調査活動を通じて、我が国の海上保安体制の今日的課題の解決に向けて、全力を尽くしてまいり所存です。

70 年前の海上保安庁創立の日より、その基本精神は、「正義仁愛」であります。海上における治安確保の拠って立つ精神である「正義」と、人命や財産の保護、航海安全の象徴である「仁愛」、この二つを通して、皆様方には引き続き、海の安心・安全確保に、なお一層の御尽力をいただきますようお願い申し上げます。

結びに、本日、御参列の皆様方の御健勝と御活躍を祈念して、私のお祝いの言葉といたします。

平成三十年六月四日
参議院議長 伊達 忠一